

令和6年度 自己評価説明書

項 目	当てはまる	やや当てはまる	当てはまらない	備 考
-----	-------	---------	---------	-----

第1 学校運営

1 設置者の理念（評価者は設置主体又は学校長）

(1)	設置者の理念・指針は明確になっているか	③	2	1	教育理念・指針は明文化され、全体に周知している。
(2)	組織の構成と教職員の任命が明確になっているか	③	2	1	組織の構成は業務規程、学校組織図等で、教職員の任命は就業規程で明確になっている。
(3)	職員の倫理規程・福利厚生が整備されているか	③	2	1	職員倫理については就業規程、服務規程等で明文化されているほか、駐車場の無償提供、健康診断・予防接種、ワークバルを活用した福利厚生事業などを行っている。
(4)	財政基盤について教職員は理解しているか	③	2	1	財政基盤については予算書、決算書等を配布してはいるが、さらに教職員全員がその内容を理解できるよう説明会を設けた。
(5)	施設整備（整備の考え方と整備計画）がされているか	③	2	1	令和元年度入学生から施設整備費負担金を徴収しており、これも財源として冷暖房設備の更新、教室の床・壁の改修等を計画的に行っている。

2 組織体制の考え方（評価者は学校長・又は副学校長）

(1)	組織体制（会議）は明確になっているか	③	2	1	組織体制は就業規程及び業務規程で、会議は各種会議運営管理規程で明確になっている。
(2)	学校長、副学校長、副学校長補佐、事務長、教務主任、実習調整者、専任教員及び事務員の役割が明確になっているか	③	2	1	学校長、副学校長、副学校長補佐、事務長、教務主任、実習調整者、専任教員及び事務員の役割は、業務規程及び事務決裁規程で明確になっている。
(3)	教職員の資質向上の考え方と対策が明確にされているか	③	2	1	研修計画を立てて資質向上の考え方と対策を明確にしており、できるだけ参加するよう努めた。
(4)	組織の構成と教職員の任用の考え方が明確になっているか	③	2	1	組織構成は就業規程の規定を受けて業務規程で明確にしており、教職員の任用の考え方は就業規程及び実情を勘案して管理職が判断・決定をしている。
(5)	財政基盤が安定しているか	③	2	1	設置主体の財政基盤は安定している。

3 危機管理（評価者は学校長又は副学校長）

(1)	地震、津波、台風等の自然災害が発生したときに、迅速かつ適切に安全を確保できる体制が整っているか	③	2	1	安全確保できる体制は防災管理規程に基づき整備されており、緊急連絡網、緊急一斉メール、通知文書等を活用しながら、学生や教職員のいち早い安全確保に努めている。
(2)	消防機関と連携しながら災害発生を想定した避難訓練を実施しているか、また、校内で避難経路の周知が図られているか	③	2	1	年1回、学生及び教職員が参加し、災害避難訓練を行っており、避難経路については、校内各所への避難経路図の貼り出し、学生便覧への掲載などにより周知を図っている。机の脇にはヘルメットを設置しており、避難訓練の際には実際に活用している。
(3)	学校の内外で感染症が発生した場合に備え、適切な感染予防又は感染拡大防止策を講じているか	③	2	1	感染予防又は感染拡大防止策として、その都度対応を修正しフローチャートに沿って行動している。毎日の体温測定・行動確認、手洗い・うがいの励行、消毒薬の設置、臨地実習前には特定の感染症の抗体のない学生への予防接種等を実施している。
(4)	感染症の感染拡大を抑えるため、在学生、教職員その他学校関係者に対し協力要請等を適時に行っているか	③	2	1	学生及び教職員には口頭又は書面による注意喚起を行い、また実習施設については、学校及び施設の状況を互いに報告・連絡・相談し、協力要請等を適時行っている。
(5)	感染症の予防及び拡大防止に係る予算を獲得し、迅速かつ適切に執行しているか	③	2	1	感染症の予防等に係る予算として、教室前設置用の消毒薬を確保し、迅速に購入・配置をしている。
(6)	自然災害等が発生した場合における対応方針が教職員、学生及び保護者に周知されているか	③	2	1	自然災害が発生した場合の対応方針は、防災管理規程等に定めた避難訓練、帰宅支援セットやヘルメット購入等により教職員・学生及び保護者に周知徹底を図っている。

第2 教育理念及び教育目的（評価者は運営委員会）

1 教育上の特徴、法との整合性

(1)	教育理念及び教育目的は、自養成所の教育上の特徴を示しているか	③	2	1	新教育課程においてより秋田県の現状や疾病構造、地域特性等を踏まえ、より本校の教育上の特徴を示した内容になっている。
(2)	教育理念及び教育目的は、法との整合性があるか	③	2	1	指定規則、看護師等養成所の運営に関する指導ガイドラインなど関係法令等を遵守し、法との整合性を図っている。

2 学習指針の明確化

(1)	教育理念及び教育目的は、学生にとって学習の指針になるように具体的に示しているか	③	2	1	教育理念、教育目的は校内各所にパネルにして掲示し、学生便覧等にも記載し、必要に応じて学生に説明しながら指導を行っている。
(2)	教育理念及び教育目的は、実際に学生の学習の指針になっているか	③	2	1	学生便覧への記載、年度初めのオリエンテーションでの説明等により、学生の学習の指針になっている。

3 教育内容、教育方法及び教育環境の明確化

(1)	教育理念及び教育目的は、養成する看護師等の質を保障するために、どのような教育内容を設定しているかを述べているか	③	2	1	新教育課程ではより具体的に文言を修正し、内容の重複を解消しながら各分野を具体的に設定している。
(2)	教育理念及び教育目的は、養成する看護師等の質を保障するために、どのような教育方法をとるかを述べているか	③	2	1	どのような教育方法をとるかについて、学生便覧、シラバス、実習要項等に示している。
(3)	教育理念及び教育目的は、養成する看護師等の質を保障するために、どのような教育環境をとるかを述べているか	③	2	1	どのような教育環境を整えるかについて、学生便覧、シラバス、実習要項等に示している。

4 看護、看護学教育、学生観の明確化

(1)	教育理念及び教育目的は、看護、看護学教育及び学生観について明示しているか	③	2	1	社会情勢や学生の特徴の変化に応じた内容とし、明示している。
(2)	看護、看護学教育及び学生観は、実際に教師の教育活動の指針となっているか	③	2	1	看護、看護学教育及び学生観が、実際に教師の教育活動の指針となっていることが新教育課程により再認識できた。

5 卒業時のもつべき資質、社会への保障の明確化

(1)	教育理念及び教育目的は、養成する看護師等が卒業時点においてもつべき資質を明示しているか	③	2	1	高い能力を持った看護師として四つの視点を掲げている。
(2)	卒業時点にもつべき資質は、社会に対する看護の質を保障するのに妥当なものとなっているか	③	2	1	社会に対する看護師の質保障という観点で、新教育課程において、卒業時点で持つべき資質をより具体的に表記しておりその内容は妥当なものとなっている。

第3 教育目標（評価者は専任副学校長）

1 教育目標と教育理念及び教育目的との一貫性

(1)	教育目標は、教育理念及び教育目的と一貫性があるか	③	2	1	教育目標は、教育理念及び教育目的と一貫性があり、新教育課程において更に具現化している。
-----	--------------------------	---	---	---	---

2 教育目標(教育内容及び最上位の目標)

(1)	教育目標は、設定した教育内容を網羅しているか	③	2	1	教育目標は、設定した教育内容を全て読み込めるように表記されている。
(2)	教育目標は、最上位の目標として、教育活動のゴールが読みとれるものとなっているか	③	2	1	教育目標は、看護師の質保障として求められる事項を具体的に表現している。

3 到達レベル及び実現可能な教育目標

(1)	教育目標は、目標内容と到達レベルが対応しているか	③	2	1	新教育課程において、教育目標の内容の重複を整理し、両者が対応するよう表現を変更した。
(2)	教育目標は、具体的で実現可能なものとなっているか	③	2	1	新教育課程において、より具体的で実現可能な教育目標としている。

4 能力育成と成長を促す教育目標

(1)	看護実践者としての能力を育成する側面と、学習者としての成長を促すための側面から教育目標を設定しているか	③	2	1	実践者育成の要素と学生の成長を促す内容となっている。
-----	---	---	---	---	----------------------------

5 卒業後の継続教育の考え方

(1)	卒業後の継続教育の考え方を示した上で、教育目標を設定しているか	③	2	1	生涯にわたって自主的かつ継続的に自己啓発できる姿勢を育成するように設定している。
-----	---------------------------------	---	---	---	--

第4 教育課程経営（評価者は教務主任）

1 教育課程経営者の活動

(1)	教育課程編成者及び教職員全体は、教育課程と授業実践、教育評価との関連性を明確にしているか	③	2	1	専任教員にあっては教務会議等で相互理解を図り、非常勤講師にあっては講義開始時にその関連性を明確にしている。
(2)	教育課程編成者及び教職員全体は、教育理念及び教育目的の達成に向けて一貫した活動を行っているか	③	2	1	教育理念及び教育目的の達成に向けて一貫した活動ができるよう教育課程の改正を行い、新教育課程の中で教職員全体でその運用に取り組んだ。

2 教育課程編成の考え方とその具体的な構成

(1)	看護学の内容について明確な考え方と根拠を持って教育課程を編成しているか	③	2	1	新教育課程を運用して3年目となり、看護学の内容についてより明確な考え方と根拠を示せるよう編成している。
(2)	学修の到達について明確な考え方と根拠を持って教育課程を編成しているか	③	2	1	全ての科目で授業回数ごとの学習内容と成果を提示するなど、学修の到達について明確な考え方と根拠を持って教育課程を編成している。
(3)	学生の成長について明確な考え方と根拠を持って教育課程を編成しているか	③	2	1	学生の成長について明確な考え方と根拠を示すため、学年ごとに獲得すべき学習行動を積み上げ方式で示している。

3 科目及び単元構成

(1)	明確な考え方と根拠をもって科目を構成しているか	③	2	1	科目の考え方と根拠を明確にするとともに、変更するときは、教務会議で検討して共通理解を図っている。
(2)	明確な考え方と根拠をもって単元を構成しているか	③	2	1	単元の考え方と根拠を明確にするとともに、変更するときは、教務会議で検討して共通理解を図っている。
(3)	科目と単元の構成の考え方は、教育理念、教育目的及び教育目標と整合性があるか	③	2	1	教育理念に含まれる各要素を教育基盤として科目と単元に取り入れており、教育目的及び教育目標と整合性がある。
(4)	構成した科目は、看護師を養成するのに妥当であるか	③	2	1	社会の要請に応えられるよう科目を構成しており、看護師を養成するのに妥当である。
(5)	構成した科目は、養成所の特徴を現しているか	③	2	1	養成所の特徴として地域社会に貢献できることを狙いとした科目を構成している。

4 教育計画

(1)	単位履修の方法とその制約について、教師、学生の双方がわかるように明示しているか	③	2	1	シラバス、実習要項、時間割等に明示している。
(2)	単位履修の方法は、学生の単位履修を支援するものとなっているか	③	2	1	シラバス、実習要項等は成績評価も含め授業計画として示しており、学生の状況に合わせて看護技術等の支援を行っている。
(3)	単位履修制の考え方を踏まえつつ、看護師になるための学修の質を維持できるように、科目の配列をしているか	③	2	1	新教育課程では、学修の質を維持できるように科目の配列をしたが、年度途中で専修学校設置基準である1学年年間800時間以上を満たすため教育課程の変更をした。

5 教育課程評価の体系

(1)	単位認定の基準は、看護師等に必要学修を認めるものとして妥当であるか	③	2	1	当該基準は、成績評価・卒業認定の基準等に関する規程に規定し公表しており、内容的にも妥当である。
(2)	単位認定の方法は、看護師に必要な学修を認めるものとして妥当であるか	③	2	1	講義評価は最終科目試験、レポート、小テスト等で、臨地実習評価は学生、指導者及び教員で行っており、妥当である。
(3)	他の高等教育機関との単位互換制度又は当該機関での履修済単位の認定が可能な体制を整えているか	③	2	1	単位互換制度は整えていないが、既修得単位を認定できる体制を整えている。
(4)	教育課程を評価する体系を整えているか	③	2	1	学生により客観的に評価する体制を整えているほか、自己評価及び学校関係者評価を実施している。
(5)	評価結果の活用における倫理規程を明確にしているか	③	2	1	自己評価規程及び学校関係者評価規程に基づき改善計画を立てるなど、評価結果の活用について明確に謳っている。

6 教員の教育及び研究活動の充実

(1)	教員が専門性を発揮できるように、教員の担当科目と時間数を配分しているか	③	2	1	教員の担当科目と時間数の配分に差があるが、専門性を発揮できるよう教員の意向等を尊重している。
(2)	教員が授業準備のための時間をとれる体制を整えているか	3	②	1	授業準備のための時間を確保できるようにしているが、学生対応や実習と講義及び演習が重なる場合などでは、特に十分に確保できていない。
(3)	教育課程の実践者である教員が自ら成長できるよう、自己研鑽のシステムを整えているか	③	2	1	講習会、研修会、学会等への参加や自己研鑽用のテキスト購入など自己研鑽システムを整えている。
(4)	教員が相互に成長できるよう、相互研鑽のシステムを整えているか	3	②	1	講習会、研修会等の参加後の伝達講習は開催していないが文書の回覧等で共有はできている。看護技術の教授法向上を目指して、教員デモンストレーションを開催し全教員が参加できるよう調整した。

7 学生の看護実践体験の保障

(1)	臨地実習施設は、養成所の個別の教育理念、教育目的及び教育目標を理解しているか	③	2	1	臨地実習指導者会議の場で本校の教育理念、教育目標等を確認していることから、十分理解されている。
(2)	臨地実習施設は、学生の看護実践の学習を支援する体制を整えているか	③	2	1	看護業務と学生指導を兼務しながら行うなど、限られた時間を有効に活用して学習を支援する体制を整えている。
(3)	臨地実習指導における学生の学びを保障するために、臨地実習指導者の役割を明確にしているか	③	2	1	臨地実習指導者会議で臨地実習指導者の役割を明確にしている。
(4)	臨地実習指導における学生の学びを保障するために、教員の役割を明確にしているか	③	2	1	臨地実習指導者会議で教員の役割を明確にしている。
(5)	臨地実習指導者と教員の協働体制を整えているか	③	2	1	実習前の打合せや実習後の振り返り、日々の指導の中で、学習内容や指導方法について意見交換をするなどして協働体制を整えている。
(6)	学生からケアを受ける対象者の権利を尊重するための考え方を明示しているか	③	2	1	臨地実習の対象者の権利に関する事項は、対象者本人と結ぶ同意書でその考え方を明示している。
(7)	対象者の権利を尊重する考え方に基づいて、学生への指導を計画的に行っているか	③	2	1	看護倫理の基本方針に沿った学校独自の倫理指針を実習要項に織り込み、これに従って指導を行っている。
(8)	臨地実習において学生が関係する事故を把握し、分析しているか	③	2	1	実習中の事故等については、十分に把握し倫理指針に基づき要因を分析している。
(9)	学生に対する安全教育及び安全対策を計画的に行っているか	③	2	1	演習や臨地実習前のオリエンテーションや、実習中の事故等においては上記(8)を経て再発防止策の立案を行い速やかに学生に啓蒙するなど、安全教育及び安全対策を十分かつ計画的に行っている。

第5 『基礎看護学』における教授・学習及び評価過程（評価者は学科別又は領域別専任教員）

1 「授業内容と教育課程との一貫性」、「看護学としての妥当性」及び「授業内容間の関連と発展」

(1)	授業の内容は、教育課程との関係において、当該学生のための授業内容として設定されているか	3	②	1	当該学生のための授業内容を設定し、一部修正をしたがまだ十分ではない。
(2)	授業内容のまとまりの考え方を明確に述べているか	③	2	1	授業内容のまとまりの考え方は、シラバスなどに掲示し明確にしている。
(3)	授業内容のまとまりの考え方は、科目目標との整合性を有しているか	3	②	1	授業内容のまとまりの考え方は、科目目標との整合性を考慮して作成されているシラバスに沿って授業を行っているが、修正が必要な部分もある。
(4)	授業内容のまとまりは、看護学の教育内容として妥当性があるか	3	②	1	看護師国家試験出題基準を基盤として内容を設定しているが、修正が必要な部分もある。
(5)	授業内容の重複や整合性、発展性等が明確になっているか	③	2	1	領域内で、重複や整合性を吟味しており、講義の内容・技術演習の積み重ねにより発展性が明確になっている。

2 授業の展開過程

(1)	授業形態（講義、演習、実験及び実習）は、授業内容に応じて選択しているか	③	2	1	科目によっては演習を取り入れるなど、授業目標が達成できるような授業形態の選択ができています。
(2)	授業展開に用いる指導技術についての考え方を授業計画等に明示し、実践しているか	③	2	1	授業展開に用いる指導技術については、授業計画等に明示し、実践している。
(3)	授業の展開過程のほかに、学生の学習が深化、発展するための方法を意図的に選択し、学習を支援しているか	3	②	1	演習後の振り返りを行うことで、自己の成果や課題を明確にさせているが、学習の深化を図る方法の検討が必要である。
(4)	学生に対し効果的な教育・指導を行うために、教員間の協力体制を明確にしているか	3	②	1	教員間での学習目標や内容、方法の共通理解を図り、演習や実習における学生の学習状況を情報交換し、指導方法を検討しながら進めているが、明確ではない。

3 目標達成の評価とフィードバック

(1)	評価計画を立案し、実施しているか	③	2	1	評価方法をシラバスや実習要項に提示しており、計画どおりに実践している。
(2)	評価結果に基づいて、実際に授業を改善しているか	③	2	1	評価結果に基づき、授業内容の再構築を行っている。
(3)	学生及び教育活動を多面的に評価するために、多様な評価の方法を取り入れているか	③	2	1	筆記試験やレポート、演習など多様な方法を取り入れ、総合的な評価をしている。
(4)	教育目標の達成状況を多面的に把握しているか	③	2	1	評価表を作成し、教育目標の達成状況を筆記試験及び実技試験により把握している。
(5)	学生に単位認定のための評価基準と方法を公表しているか	③	2	1	シラバスや実習要項に科目ごとの評価項目を公表しており、初講時や試験前には、口頭での説明や確認も実施している。
(6)	単位認定の評価は、公平性が保たれているか	③	2	1	上記(5)に記載のとおり単位認定の評価方法を公表し、教員ごとに相違がないように評価していることから、公平性は十分に保たれている。

4 学習への動機づけと支援

(1)	シラバスの提示や学習への指導は、養成所全体として一貫性があるか	③	2	1	領域内では指導の一貫性があるかどうかを検討し、養成所全体においても指導案を共有し指導の一貫性を保つことができています。
(2)	シラバスの提示や学習への指導は、学生の学習への動機づけと支援になっているか	3	②	1	学習習慣の形成や個人に合わせた効果的な学習方法の獲得に繋がるよう支援をしているが、成果は不十分である。

第6 『地域・在宅看護論』における教授・学習及び評価過程（評価者は学科別又は領域別専任教員）

1 「授業内容と教育課程との一貫性」、「看護学としての妥当性」及び「授業内容間の関連と発展」

(1)	授業の内容は、教育課程との関係において、当該学生のための授業内容として設定されているか	③	2	1	地域における様々な生活の場と生活を営む人々を理解できるように設定されている。
(2)	授業内容のまとまりの考え方を明確に述べているか	③	2	1	シラバスで授業内容のまとまりの考え方を明確にしている。
(3)	授業内容のまとまりの考え方は、科目目標との整合性を有しているか	③	2	1	科目目標に即し、学習目標の設定を行っているとともに、学習内容を精選し授業内容との整合性を図っている。
(4)	授業内容のまとまりは、看護学の教育内容として妥当性があるか	③	2	1	授業内容は教科書、国家試験出題基準に即している。また地域についての学習内容なども考慮しており、妥当性がある。
(5)	授業内容の重複や整合性、発展性等が明確になっているか	③	2	1	科目内での授業内容については重複せず、また関連科目との発展性を持てるように組み立てを行っている。

2 授業の展開過程

(1)	授業形態（講義、演習、実験及び実習）は、授業内容に応じて選択しているか	③	2	1	講義、グループワーク、フィールドワークを含めた地域を調べ全体で共有しさらに知識を深めることができる形態としている。また、演習も取り入れるなど発展性がある授業としている。
(2)	授業展開に用いる指導技術についての考え方を授業計画等に明示し、実践しているか	③	2	1	シラバスに概要を明示し、講義前に詳しく説明し周知を図っている。
(3)	授業の展開過程のほかに、学生の学習が深化、発展するための方法を意図的に選択し、学習を支援しているか	③	2	1	学生の思考過程を深めることができるように個人ワークとグループワークを取り入れ全体が共有できる学びとなるよう支援している。
(4)	学生に対し効果的な教育・指導を行うために、教員間の協力体制を明確にしているか	③	2	1	領域内では教員・指導者間での協力体制は構築されている。また、学内の全教員が実習に関わるなど十分な協力体制が取れている。

3 目標達成の評価とフィードバック

(1)	評価計画を立案し、実施しているか	③	2	1	講義、試験、臨地実習の結果など評価計画を立案し、実施前に学生に文章及び口頭で説明し、実施している。
(2)	評価結果に基づいて、実際に授業を改善しているか	③	2	1	授業での学生の反応、意見、試験結果などを上記に加味し、次年度の改善を図っている。
(3)	学生及び教育活動を多面的に評価するために、多様な評価の方法を取り入れているか	③	2	1	筆記試験のほか、グループワーク、レポート、プレゼンテーションを取り入れるなど多様な評価方法を取り入れている。
(4)	教育目標の達成状況を多面的に把握しているか	③	2	1	授業においては上記（3）のように、形成的評価、総括的評価を行っている。また、臨地実習では指導者からの他者評価を実施している。
(5)	学生に単位認定のための評価基準と方法を公表しているか	③	2	1	評価基準は規程化し公表しており、シラバスにも明示しており、評価内容については事前に詳しい説明を行い、質問も受けながら確認している。
(6)	単位認定の評価は、公平性が保たれているか	③	2	1	上記（5）に記載のとおり、単位認定の評価方法等を公表し、教員ごとに相違がないように評価していることから、公平性は十分に保たれている。

4 学習への動機づけと支援

(1)	シラバスの提示や学習への指導は、養成所全体として一貫性があるか	③	2	1	年次別学習行動目標に沿い、シラバスへの提示、学習指導を行っていることから、一貫性はある。
-----	---------------------------------	---	---	---	--

(2)	シラバスの提示や学習への指導は、学生の学習への動機づけと支援になっているか	3	②	1	シラバスを用いて説明し、学習の進行状況によっては学習内容の順番を変えるなど学習の動機づけと支援につながるようにしているが、必ずしも十分とは言えない。
-----	---------------------------------------	---	---	---	--

第7 『成人・老年看護学』における教授・学習及び評価過程（評価者は学科別又は領域別専任教員）

1 「授業内容と教育課程との一貫性」、「看護学としての妥当性」及び「授業内容間の関連と発展」

(1)	授業の内容は、教育課程との関係において、当該学生のための授業内容として設定されているか	③	2	1	教育課程の変更にもなって時期をずらすなど修正・対応をしながら当該学生のための授業内容を設定している。
(2)	授業内容のまとまりの考え方を明確に述べているか	③	2	1	シラバスに考え方を明示し、授業の開始時に科目の構成と学習内容を学生に説明している。
(3)	授業内容のまとまりの考え方は、科目目標との整合性を有しているか	③	2	1	シラバスに示された科目単元ごとの学習内容と科目目標とは整合性を有している。
(4)	授業内容のまとまりは、看護学の教育内容として妥当性があるか	③	2	1	高齢化の進展による成人看護学実習と老年看護学実習対象者の重複をふまえて領域横断科目として設定しており妥当性がある。
(5)	授業内容の重複や整合性、発展性等が明確になっているか	③	2	1	シラバスに明記し、授業内容の重複や整合性、発展性について明確にしている。

2 授業の展開過程

(1)	授業形態（講義、演習、実験及び実習）は、授業内容に応じて選択しているか	③	2	1	講義から実習、さらにその先の臨床での判断場面を想定できるようにグループワークや演習を組み込むなど授業形態を選択している。
(2)	授業展開に用いる指導技術についての考え方を授業計画等に明示し、実践しているか	③	2	1	授業展開に用いる指導技術については、シラバスと授業計画に明示し、授業の中で学習効果を高めていけるよう実践している。
(3)	授業の展開過程のほかに、学生の学習が深化、発展するための方法を意図的に選択し、学習を支援しているか	③	2	1	称賛、価値付け、演習のポイント提示などをしながら学習支援を行っている。
(4)	学生に対し効果的な教育・指導を行うために、教員間の協力体制を明確にしているか	③	2	1	臨地実習では教員・指導者間での協力体制は十分に構築されている。

3 目標達成の評価とフィードバック

(1)	評価計画を立案し、実施しているか	③	2	1	講義、試験等の結果のほか、臨地実習での実践状況、記録等も加味した評価計画を立案し、実施している。
(2)	評価結果に基づいて、実際に授業を改善しているか	3	②	1	授業改善に意識的に取り組んでいるが、新規科目であることから今後の評価結果を基に継続的に授業内容をブラッシュアップしていく必要がある。
(3)	学生及び教育活動を多面的に評価するために、多様な評価の方法を取り入れているか	③	2	1	筆記試験のほか、グループワークの評価、レポートや提出課題の評価など多様な評価方法を取り入れている。
(4)	教育目標の達成状況を多面的に把握しているか	③	2	1	上記(3)の多様な評価方法により達成状況を多面的に把握している。
(5)	学生に単位認定のための評価基準と方法を公表しているか	③	2	1	評価基準等を記載したシラバスを学生に配布して講義開始時に説明するほか、ホームページでも公表している。
(6)	単位認定の評価は、公平性が保たれているか	③	2	1	評価基準に従って実施しており、公平性は保たれている。

4 学習への動機づけと支援

(1)	シラバスの提示や学習への指導は、養成所全体として一貫性があるか	③	2	1	新教育課程への移行期にあり運営開始において養成所全体として一貫性が持てるようにした。
(2)	シラバスの提示や学習への指導は、学生の学習への動機づけと支援になっているか	③	2	1	シラバスの提示や学習への指導は学生全体に対して実施した。看護過程演習やアクティブラーニングにより実習を意識した学習の動機付けができた。

第8 『成人看護学』における教授・学習及び評価過程（評価者は学科別又は領域別専任教員）

1 「授業内容と教育課程との一貫性」、「看護学としての妥当性」及び「授業内容間の関連と発展」

(1)	授業の内容は、教育課程との関係において、当該学生のための授業内容として設定されているか	③	2	1	指導要項や学生の習熟度などを勘案し、当該学生のための授業内容を設定している。
(2)	授業内容のまとまりの考え方を明確に述べているか	③	2	1	授業のまとまりの考え方は、シラバスなどに掲示し明確にしているほか、授業オリエンテーションでも説明している。
(3)	授業内容のまとまりの考え方は、科目目標との整合性を有しているか	③	2	1	授業内容のまとまりの考え方については、科目目標との整合性を考慮し作成されているシラバスに沿って授業を行っているので、両者は整合性を有している。
(4)	授業内容のまとまりは、看護学の教育内容として妥当性があるか	③	2	1	看護学の教育内容を十分に意識して授業を構成しており、妥当性は認められている。
(5)	授業内容の重複や整合性、発展性等が明確になっているか	③	2	1	授業内容の重複や整合性、発展性を考慮して構成しており、明確になっている。

2 授業の展開過程

(1)	授業形態（講義、演習、実験及び実習）は、授業内容に応じて選択しているか	③	2	1	授業内容に合わせて適宜適切な授業形態を選択している。
(2)	授業展開に用いる指導技術についての考え方を授業計画等に明示し、実践しているか	③	2	1	授業展開に用いる指導技術については、シラバスと授業計画に明示している。
(3)	授業の展開過程のほかに、学生の学習が深化、発展するための方法を意図的に選択し、学習を支援しているか	③	2	1	ICTの活用やワークシート、技術演習、参考文献を提示するなど支援や具体的方法を掲示し実施している。
(4)	学生に対し効果的な教育・指導を行うために、教員間の協力体制を明確にしているか	③	2	1	シラバスに沿って指導しており、協力体制は維持できている。

3 目標達成の評価とフィードバック

(1)	評価計画を立案し、実施しているか	③	2	1	評価計画を立案し、これを有効に活用している。
(2)	評価結果に基づいて、実際に授業を改善しているか	③	2	1	学生の理解度を考慮しながら、授業の改善を行っている
(3)	学生及び教育活動を多面的に評価するために、多様な評価の方法を取り入れているか	③	2	1	筆記試験のほかにレポート・グループワーク・演習の評価・実習記録、実践状況など多様な評価方法を取り入れている。
(4)	教育目標の達成状況を多面的に把握しているか	③	2	1	上記(3)のような多様な評価方法により教育目標の達成状況を多面的に把握している。
(5)	学生に単位認定のための評価基準と方法を公表しているか	③	2	1	成績評価、卒業認定基準を規定化し公表しているほか、シラバスや実習要項に科目ごとの評価項目を記載している。
(6)	単位認定の評価は、公平性が保たれているか	③	2	1	上記(5)に記載のとおり単位認定の評価方法を公表し評価していることから、公平性は十分に保たれている。

4 学習への動機づけと支援

(1)	シラバスの提示や学習への指導は、養成所全体として一貫性があるか	③	2	1	一貫性を考慮したうえでカリキュラムを作成している。
(2)	シラバスの提示や学習への指導は、学生の学習への動機づけと支援になっているか	③	2	1	シラバスの提示や学習への指導により、全員が単位を修得しており、学習への動機づけと支援になっている。

第9 『老年看護学』における教授・学習及び評価過程（評価者は学科別又は領域別専任教員）

1 「授業内容と教育課程との一貫性」、「看護学としての妥当性」及び「授業内容間の関連と発展」

(1)	授業の内容は、教育課程との関係において、当該学生のための授業内容として設定されているか	③	2	1	1年後期から加齢と老化現象と法制度を学び、心身の特徴については2年前期で学ぶことで、高齢者の特徴が理解できるようにしている。
(2)	授業内容のまとまりの考え方を明確に述べているか	③	2	1	シラバスで示しているとともに初講で説明をしている。
(3)	授業内容のまとまりの考え方は、科目目標との整合性を有しているか	③	2	1	授業内容のまとまりの考え方については、科目目標との整合性を考慮しシラバスに沿って授業を行っている。そのため、両者は整合性を有している。
(4)	授業内容のまとまりは、看護学の教育内容として妥当性があるか	③	2	1	高齢者に必要な看護技術演習と老年体験をすることで、高齢者に生じている加齢現象を体験できおり、教育内容として妥当性がある。
(5)	授業内容の重複や整合性、発展性等が明確になっているか	③	2	1	担当教員間で連携を図り整合性に配慮しながら実施している。

2 授業の展開過程

(1)	授業形態（講義、演習、実験及び実習）は、授業内容に応じて選択しているか	③	2	1	学生同士の成長を促すために演習やグループ学習などを行っている。
(2)	授業展開に用いる指導技術についての考え方を授業計画等に明示し、実践しているか	③	2	1	シラバスや演習時に資料に目標を示し、これに基づき実践している。
(3)	授業の展開過程のほかに、学生の学習が深化、発展するための方法を意図的に選択し、学習を支援しているか	③	2	1	既習内容の振り返りができるように意識して授業展開をしている。
(4)	学生に対し効果的な教育・指導を行うために、教員間の協力体制を明確にしているか	③	2	1	担当教員間で連携を図り整合性に配慮しながら実施している。

3 目標達成の評価とフィードバック

(1)	評価計画を立案し、実施しているか	③	2	1	計画を立案し実施し、説明をしている。
(2)	評価結果に基づいて、実際に授業を改善しているか	③	2	1	授業内容、学生の反応から振り返り授業改善を行っている。
(3)	学生及び教育活動を多面的に評価するために、多様な評価の方法を取り入れているか	③	2	1	学生観、授業内容を考慮し評価方法としてレポート、ペーパー試験などを選択している。
(4)	教育目標の達成状況を多面的に把握しているか	③	2	1	上記（3）のような多様な評価方法により教育目標の達成状況を多面的に把握している。
(5)	学生に単位認定のための評価基準と方法を公表しているか	③	2	1	レポート評価は評価内容や基準を配布した後に説明している。臨地実習では、最終評価の説明をしている。
(6)	単位認定の評価は、公平性が保たれているか	③	2	1	公平性が保てるように、レポート等の評価にも項目を設け学生に配布し、説明している。

4 学習への動機づけと支援

(1)	シラバスの提示や学習への指導は、養成所全体として一貫性があるか	③	2	1	シラバスで提示されている内容で、一貫性に配慮しながら学習指導を実施している。
(2)	シラバスの提示や学習への指導は、学生の学習への動機づけと支援になっているか	③	2	1	学習の動機づけとなるように、グループ間の話し合いを多く設けるなど、全体で取り組めるように工夫している。

第10 『小児看護学』における教授・学習及び評価過程（評価者は学科別又は領域別専任教員）

1 「授業内容と教育課程との一貫性」、「看護学としての妥当性」及び「授業内容間の関連と発展」

(1)	授業の内容は、教育課程との関係において、当該学生のための授業内容として設定されているか	③	2	1	学習成果を考慮し、専門基礎分野の後に専門分野を学習する内容としている。
(2)	授業内容のまとまりの考え方を明確に述べているか	③	2	1	シラバスに内容を明示しており、授業開始時には内容を明確に伝えている。講義開始後も必要時には適宜伝えている。
(3)	授業内容のまとまりの考え方は、科目目標との整合性を有しているか	③	2	1	各科目において科目目標が達成されるよう授業内容を設定しており、整合性を有している。
(4)	授業内容のまとまりは、看護学の教育内容として妥当性があるか	③	2	1	講義をふまえ小児モデルを使用した演習を実施するなど、小児の特徴を学ぶ教育内容として妥当性がある。
(5)	授業内容の重複や整合性、発展性等が明確になっているか	③	2	1	授業内容の重複や整合性、発展性を考慮して構成しており、明確になっている。

2 授業の展開過程

(1)	授業形態（講義、演習、実験及び実習）は、授業内容に応じて選択しているか	③	2	1	授業形態は、学習成果を考慮し、グループワークや講義の中にも演習を取り入れるなど内容を適宜選択している。
(2)	授業展開に用いる指導技術についての考え方を授業計画等に明示し、実践しているか	③	2	1	授業展開に用いる指導技術については、シラバスと授業計画に明示している。
(3)	授業の展開過程のほかに、学生の学習が深化、発展するための方法を意図的に選択し、学習を支援しているか	③	2	1	学習の深化や発展を考慮し、ノート作成などの方法を選択し支援している。
(4)	学生に対し効果的な教育・指導を行うために、教員間の協力体制を明確にしているか	③	2	1	領域内では非常勤講師とのオムニバス方式を採用しているが、教員間の連携・協力体制を明確にしている。

3 目標達成の評価とフィードバック

(1)	評価計画を立案し、実施しているか	③	2	1	目標達成を見据えた評価計画を立案しており、実施している。
(2)	評価結果に基づいて、実際に授業を改善しているか	3	②	1	評価結果に基づき、必要に応じて授業内容の改善を行ってはいるが、十分とは言えない。
(3)	学生及び教育活動を多面的に評価するために、多様な評価の方法を取り入れているか	③	2	1	筆記試験のほかにグループワーク・レポートなど多様な評価方法を取り入れており、多面的に評価している。
(4)	教育目標の達成状況を多面的に把握しているか	③	2	1	多様な評価方法により多面的に達成状況を把握している。
(5)	学生に単位認定のための評価基準と方法を公表しているか	③	2	1	評価方法についてはシラバスや授業前に口頭でも説明をしており、評価時に評価基準を提示している。
(6)	単位認定の評価は、公平性が保たれているか	③	2	1	評価基準に従って実施しており、公平性は保たれている。

4 学習への動機づけと支援

(1)	シラバスの提示や学習への指導は、養成所全体として一貫性があるか	③	2	1	シラバスの提示については周知し統一しており、養成所全体においても内容を共有し指導の一貫性を保つことができています。
(2)	シラバスの提示や学習への指導は、学生の学習への動機づけと支援になっているか	③	2	1	授業開始時にシラバスを提示し説明することで動機づけと支援につながっている。

第11 『母性看護学』における教授・学習及び評価過程（評価者は学科別又は領域別専任教員）

1 「授業内容と教育課程との一貫性」、「看護学としての妥当性」及び「授業内容間の関連と発展」

(1)	授業の内容は、教育課程との関係において、当該学生のための授業内容として設定されているか	③	2	1	学生の状況を踏まえ、専門基礎分野終了後、2年次前期から後期にかけて学習する内容となっている。
(2)	授業内容のまとまりの考え方を明確に述べているか	③	2	1	概論から周産期ケア論、母性看護技術、周産期の健康逸脱と看護までの段階を踏んだ内容となっており、シラバスで明示している。
(3)	授業内容のまとまりの考え方は、科目目標との整合性を有しているか	③	2	1	シラバスに示された科目単元ごとの学習内容と科目目標とは整合性を有している。
(4)	授業内容のまとまりは、看護学の教育内容として妥当性があるか	③	2	1	テキストや国家試験出題基準等から学習内容を精選しており、母性看護学の学習内容として妥当性がある。
(5)	授業内容の重複や整合性、発展性等が明確になっているか	③	2	1	シラバスに明記し、授業内容の重複や整合性、発展性について明確にしている。

2 授業の展開過程

(1)	授業形態（講義、演習、実験及び実習）は、授業内容に応じて選択しているか	③	2	1	授業形態は、学習成果が上がるよう授業内容に応じて適宜、適切に選択している。
(2)	授業展開に用いる指導技術についての考え方を授業計画等に明示し、実践しているか	③	2	1	シラバスの中で、時間ごとの学習内容、学習方法を明確にし、授業を実践している。
(3)	授業の展開過程のほかに、学生の学習が深化、発展するための方法を意図的に選択し、学習を支援しているか	③	2	1	講義以外での学生からの質問に対応したり、学習課題の提示、試験対策を示したりしながら、学習支援を行っている。
(4)	学生に対し効果的な教育・指導を行うために、教員間の協力体制を明確にしているか	③	2	1	外部講師と連携を取り効果的な教育・指導を行えるよう協力体制を明確にしている。

3 目標達成の評価とフィードバック

(1)	評価計画を立案し、実施しているか	③	2	1	講義、試験等の結果のほか、臨地実習での実践状況、記録等も加味した評価計画を立案し、実施している。
(2)	評価結果に基づいて、実際に授業を改善しているか	③	2	1	前年度の評価結果に基づき、授業内容の改善を行っている。
(3)	学生及び教育活動を多面的に評価するために、多様な評価の方法を取り入れているか	③	2	1	筆記試験のほか、グループワークの評価、レポートや提出課題の評価など多様な評価方法を取り入れている。
(4)	教育目標の達成状況を多面的に把握しているか	3	②	1	上記(3)の多様な評価方法により達成状況を多面的に把握しているが、実習での客観的評価については工夫する余地がある。
(5)	学生に単位認定のための評価基準と方法を公表しているか	③	2	1	評価基準等を記載したシラバスを学生に配布して講義開始時に説明するほか、ホームページでも公表している。
(6)	単位認定の評価は、公平性が保たれているか	③	2	1	評価基準に従って実施しており、公平性は保たれている。

4 学習への動機づけと支援

(1)	シラバスの提示や学習への指導は、養成所全体として一貫性があるか	③	2	1	シラバスの提示については周知し統一しており、養成所全体においても内容を共有し指導の一貫性を保つことができている。
(2)	シラバスの提示や学習への指導は、学生の学習への動機づけと支援になっているか	③	2	1	学生への動機づけと支援につながっている。

第12 『精神看護学』における教授・学習及び評価過程（評価者は学科別又は領域別専任教員）

1 「授業内容と教育課程との一貫性」、「看護学としての妥当性」及び「授業内容間の関連と発展」

(1)	授業の内容は、教育課程との関係において、当該学生のための授業内容として設定されているか	③	2	1	既習内容を考慮し、基礎分野終了後に専門基礎分野と並行して2年次から学習する授業内容を設定している。
(2)	授業内容のまとまりの考え方を明確に述べているか	③	2	1	シラバスに考え方を明示し、授業の開始時に科目の構成と学習内容を学生に説明している。
(3)	授業内容のまとまりの考え方は、科目目標との整合性を有しているか	③	2	1	シラバスに教科目ごとの学習目標を示しており、当該領域の学習目標と授業内容は整合性を有している。
(4)	授業内容のまとまりは、看護学の教育内容として妥当性があるか	③	2	1	テキスト、国家試験出題基準などからも学習内容を精選しており、当該領域の学習内容として妥当性がある。
(5)	授業内容の重複や整合性、発展性等が明確になっているか	③	2	1	シラバスに学習内容と成果を示しており、授業内容の重複や整合性、発展性について明確にしている。

2 授業の展開過程

(1)	授業形態（講義、演習、実験及び実習）は、授業内容に応じて選択しているか	③	2	1	授業形態は、学習成果が上がるよう授業内容に応じて適宜・適切に選択している。
(2)	授業展開に用いる指導技術についての考え方を授業計画等に明示し、実践しているか	③	2	1	シラバスに指導技術の考え方を明示し、授業展開に応じて学生に説明し実践している。
(3)	授業の展開過程のほかに、学生の学習が深化、発展するための方法を意図的に選択し、学習を支援しているか	③	2	1	臨地実習に活用できる内容をノートにまとめるなどの工夫を行い、臨地実習での学びを深められるよう学習支援している。
(4)	学生に対し効果的な教育・指導を行うために、教員間の協力体制を明確にしているか	③	2	1	領域内では効果的な教育・指導を行うために、担当教員間・指導者間での協力体制は構築されている。

3 目標達成の評価とフィードバック

(1)	評価計画を立案し、実施しているか	③	2	1	講義、試験等の結果のほか、臨地実習での実践状況、記録等も加味した評価計画を立案し、実践している。
(2)	評価結果に基づいて、実際に授業を改善しているか	③	2	1	前年度の評価結果に基づき、講義方法及び講義内容の改善を図っている。
(3)	学生及び教育活動を多面的に評価するために、多様な評価の方法を取り入れているか	③	2	1	筆記試験のほかにレポート・グループワーク・演習の評価・実習記録、実践状況など多様な評価方法を取り入れている。
(4)	教育目標の達成状況を多面的に把握しているか	③	2	1	上記(3)のような多様な評価方法により教育目標の達成状況を多面的に把握している。
(5)	学生に単位認定のための評価基準と方法を公表しているか	③	2	1	成績評価・卒業認定基準を規定化し公表しているほか他、シラバスや実習要項に科目ごとの評価項目を記載しており、初講時や試験前には、口頭での説明や確認を行っている。
(6)	単位認定の評価は、公平性が保たれているか	③	2	1	上記(5)に記載のとおり、単位認定の評価方法等を公表し、教員ごとに相違がないように評価していることから、公平性は十分に保たれている。

4 学習への動機づけと支援

(1)	シラバスの提示や学習への指導は、養成所全体として一貫性があるか	③	2	1	シラバスの提示については周知し統一しており、養成所全体においても内容を共有し指導の一貫性を保つことができています。
(2)	シラバスの提示や学習への指導は、学生の学習への動機づけと支援になっているか	③	2	1	講義前にシラバスを用いて説明し、学習の動機づけと支援につながっている。

第13 『臨床看護の実践』にける教授・学習及び評価過程（評価者は学科別又は領域別専任教員）

1 「授業内容と教育課程との一貫性」、「看護学としての妥当性」及び「授業内容間の関連と発展」

(1)	授業の内容は、教育課程との関係において、当該学生のための授業内容として設定されているか	③	2	1	学生の状況を踏まえ、3年次に学習する授業内容として設定している。
(2)	授業内容のまとまりの考え方を明確に述べているか	③	2	1	授業内容のまとまりの考え方はシラバスに示しているほか、初講時にオリエンテーションを実施し明確にしている。
(3)	授業内容のまとまりの考え方は、科目目標との整合性を有しているか	③	2	1	科目目標との整合性を考慮して作成されているシラバスに沿って授業を行っており、両者の整合性は図られている。
(4)	授業内容のまとまりは、看護学の教育内容として妥当性があるか	③	2	1	看護学の教育内容を十分に意識して授業を構成しており、妥当性は認められている。
(5)	授業内容の重複や整合性、発展性等が明確になっているか	③	2	1	卒業後の看護活動に必要な基礎学習となっており、他領域との授業内容との重複、整合性などは明確になっている。

2 授業の展開過程

(1)	授業形態（講義、演習、実験及び実習）は、授業内容に応じて選択しているか	③	2	1	講義から実習、さらにその先の臨床での判断場面を想定できるように授業形態を選択している。
(2)	授業展開に用いる指導技術についての考え方を授業計画等に明示し、実践しているか	③	2	1	授業展開に用いる指導技術については、シラバスと授業計画に明示し、授業の中で学習効果を高めていけるよう実践している。
(3)	授業の展開過程のほかに、学生の学習が深化、発展するための方法を意図的に選択し、学習を支援しているか	③	2	1	称賛、価値付け、学生間評価や、演習のポイント提示などを行いながら学習支援を行っている。
(4)	学生に対し効果的な教育・指導を行うために、教員間の協力体制を明確にしているか	3	②	1	臨地実習では教員・指導者間での協力体制は十分に構築されている。学内の他領域との協力体制は十分とは言えない。

3 目標達成の評価とフィードバック

(1)	評価計画を立案し、実施しているか	③	2	1	演習、グループワーク等による評価計画を立案し、評価基準を示しながら評価を実施している。
(2)	評価結果に基づいて、実際に授業を改善しているか	③	2	1	評価結果に基づいて、事例提示、演習方法等について改善している。
(3)	学生及び教育活動を多面的に評価するために、多様な評価の方法を取り入れているか	③	2	1	演習、ワークシート、レポートにおける教員評価のほかに、学生間評価など多様な評価の方法を取り入れている。
(4)	教育目標の達成状況を多面的に把握しているか	③	2	1	個々の課題に対して評価表を作成し、教育目標の達成状況を多面的に把握している。
(5)	学生に単位認定のための評価基準と方法を公表しているか	③	2	1	単位認定のための評価基準と方法については、シラバス及び初講時の資料に明示して授業前に口頭で説明をしている。
(6)	単位認定の評価は、公平性が保たれているか	3	②	1	演習はグループワークであり、個々の取組が評価に反映していない部分もないとは言えないため、公平性を保つことが難しい場合もある。

4 学習への動機づけと支援

(1)	シラバスの提示や学習への指導は、養成所全体として一貫性があるか	③	2	1	新教育課程への移行期にあり運営開始において養成所全体として一貫性がある。
(2)	シラバスの提示や学習への指導は、学生の学習への動機づけと支援になっているか	③	2	1	シラバスの提示や学習への指導は学生全体に対して実施した。アクティブラーニングにより実習を意識した学習の動機づけと支援になっている。

第14 経営・管理過程（評価者は、4、5及び9を除き設置主体）

1 設置者の意思及び指針

(1)	養成所の管理者は、教育理念及び教育目的についての考え方を明示しているか	③	2	1	教育理念及び教育目的については、学生便覧、冊子『学校案内』、ホームページ等で明示しているほか、校内各所にパネル化して掲示している。
(2)	養成所の管理者は、教育課程経営についての考え方を明示しているか	③	2	1	教育課程経営についての考え方は、年度初めに活動方針として説明している。
(3)	養成所の管理者は、教育評価についての考え方を明示しているか	③	2	1	教育評価についての考え方は、成績評価及び卒業認定の基準等に関する規程で明示している。
(4)	養成所の管理者は、養成所の管理運営等についての考え方を明示しているか	③	2	1	管理運営等についての考え方は、管理運営に関する規程で明示している。
(5)	明示した管理者の考えと設置者の意思とは一貫性があるか	③	2	1	学則や各種規程を踏まえて、設置者が予算として具現化していることから一貫性はある。
(6)	教職員は、養成所の設置者と管理者の考え方を理解しているか	③	2	1	学則や各種規程、教育理念等を通して、教職員は設置者と管理者の考え方を理解している。

2 組織体制

(1)	養成所の組織体制は、教育理念及び目的を達成するための権限や役割機能が明確になっているか	③	2	1	業務規程、事務決裁規程等により明確になっている。
(2)	意思決定システムが明確になっているか	③	2	1	各種会議運営管理規程、事務決裁規程、文書規程等により明確になっている。
(3)	意思決定システムは、組織構成員の意思を反映できるように整えられているか	③	2	1	施策決定に当たっては各種会議により、事務処理に当たっては文書の起案・決裁の手続により、組織構成員の意思を反映できるように整えられている。
(4)	意思決定システムは、決定事項が周知できるように整えられているか	③	2	1	起案・決裁の手続、教務会議等により、決定事項が周知できるように整えられている。
(5)	組織の構成と教職員の任用の考え方と、教育理念及び教育目的達成との整合性があるか	③	2	1	本校運営上最上位にある教育理念及び教育目的の達成ために組織を構成し、適材の教職員の任用に努めていることから、両者に整合性はある。
(6)	教職員の資質の向上についての考え方と対策には、教育理念及び教育目的達成との整合性があるか	③	2	1	教育理念及び教育目的を達成するため、各種研修会・講演会への参加、専門書籍の購入等を認めることにより教職員の資質向上を図っているため、両者に整合性はある。

3 財政基盤

(1)	財政基盤を確保することについての考え方が明確であるか	③	2	1	学校運営基金の活用、授業料等の一般財源、県補助金等も財源として確保していくという考え方が予算編成を通して明確になっている。
(2)	財政基盤を確保することについての考え方は、学習及び教育の質の維持・向上につながっているか	③	2	1	施設整備費等負担金並びに行政及び民間による各種補助金等により、パソコンを活用した授業、国家試験対策のネットサービス等を受けるなど学習及び教育の質の維持・向上に役立てている。
(3)	教職員は、養成所がどのような財政基盤によって成り立っているかを理解しているか	③	2	1	予算書及び決算書を教職員全員に配布しているが、内容を周知徹底するために説明を行っている。
(4)	教職員のそれぞれの観点からの財政についての意見は、経営・管理過程に反映できるようにになっているか	③	2	1	予算編成の過程で教職員の意見が反映できるようにしている。

4 施設設備の整備（評価者は事務長）

(1)	学習・教育環境の整備について、管理者の考え方を明示しているか	③	2	1	ホームページの学校紹介の項「学校長挨拶」の中で、看護師国家試験の高い合格率、ICT教育の推進、新教育課程への移行による重要科目の更なる学び等を明示している。
(2)	管理者の考え方に基づいて整備計画を立案し、実施しているか	③	2	1	限られた予算の中で、効率的かつ効果的な施設設備の整備を行うこととし、今年度も計画的に冷暖房設備の更新及びリース料の支払を行った。
(3)	看護の専門教育に必要な施設設備を計画的に整備しているか	③	2	1	これまで計画的に教材備品の更新・新規購入を行ってきており、今年度は小児モデルを購入し授業や学校案内で活用した。
(4)	医療・看護の発展や学生層の変化に合わせて、施設設備を整備し、改善しているか	③	2	1	医療現場でのICT導入を踏まえ、既に整備済みのWi-Fi環境の下、令和6年度入学生も電子教科書を使用したり、ネットサービスを利用して国試対策の学習を行ったりしている。
(5)	養成所が設置されている地域環境との関連から、学生及び教職員にとっての福利厚生施設の整備を検討しているか	③	2	1	在学生や教職員からの要望に従って設置した飲食物販売用自動販売機を利用してもらっているほか、昼休みの時間帯に、月2回のペースでパン屋さんに、月1回のペースでキッチンカーに來校してもらった。
(6)	学生が学生生活を円滑に送り、教職員が職務を円滑に遂行できるように施設設備を整備しているか	③	2	1	冷暖房設備の計画的更新、視聴覚設備の随時の更新、駐車場区画線の引直し等を行うことにより、学生が円滑に学生生活を送り、教職員が円滑に職務を遂行できるようにしている。

5 図書室の運用状況(評価者は司書)

(1)	図書室における蔵書数は国で示している基準に適合しているか、また、分野ごと、領域ごとに整理されているか	③	2	1	蔵書数及び学術雑誌の種類は基準に適合している。また、分野ごと、領域ごとに整理している。
(2)	図書室の管理等に関する規程を整備し、これに従って司書が図書の貸し出し、返却、図書・雑誌の購入、図書の除籍等を行っているか	③	2	1	図書室管理運営規定及び図書除籍取扱基準に基づき、図書室の業務を適切に行っている。

6 学生生活の支援

(1)	学生が入学後に学修を継続できる支援体制を多角的に整えているか	③	2	1	成績不振の学生や学習習慣が身についていない学生に対して早めの指導と支援を行っている。
(2)	学生が活用しやすいように学生生活の支援体制を多角的に整えているか	③	2	1	各種の奨学金制度の紹介や、申請手続きの支援、高等教育の修学支援新制度による授業料等の減免を行っているほか、社会人経験者の在学生在が教育訓練給付金の支給を受けられるようにしている。(6年度実績なし)
(3)	支援体制は、実際に学生に活用され、学修の継続を助けているか	③	2	1	今年度、公的奨学金の給付又は貸与を50名の学生が受けているほか、30名が授業料の減免を、12名が入学金の減免を受けており、学修の継続につながっている。

7 情報提供の取組

(1)	教育・学習活動に関する情報提供を関係者(保護者等)に行っているか	③	2	1	学習活動、学校行事等について、保護者との面接、ホームページ・パンフレット等を活用し情報提供を行っている。
(2)	関係者(保護者等)への情報提供は、関係者から協力又は支援を得ることにつながっているか	③	2	1	適宜送付する通知文書により協力を得ることにつながっている。
(3)	看護師を養成する機関としての存在を、十分にアピールする広報活動を適切に行っているか	③	2	1	進路ガイダンス、学校訪問、学生募集用ポスターの作成・配布、学校行事及び学習状況のホームページへのPR記事の掲載等により、適切に広報活動を行っている。
(4)	広報の内容は、社会的説明責任を果たすものになっているか	③	2	1	学習状況や校内行事、看護師国家試験の結果等を広報記事の内容に取り入れ、ホームページで発信することにより、看護職を養成する学校であることを示し、社会的説明責任を果たしている。

8 養成所の運営計画と将来構想

(1)	養成所は、明確な将来構想のもとに、運営の中・長期計画、短期計画及び年間計画を立案しているか	3	②	1	年間計画は立てているが、時代の要請に合わせて将来構想に基づく計画を考えていく必要がある。
(2)	その実施・評価は、将来構想との整合性を持っているか	3	②	1	運営計画及び年間計画の実施・評価は、将来構想との整合性が図られるよう努めている。

9 自己評価の目的と方法 (評価者は自己評価委員)

(1)	自己評価の意味と目的を理解しているか	③	2	1	自己評価規程に明示されており、その意味と目的を理解している。
(2)	実際に自己評価を行うための知識と方法を明確に持っているか	③	2	1	自己評価を行うための明確な知識と方法については、概ね身につけてきており自己評価することについては前向きに取り組んでいる。

10 自己評価体制

(1)	自己評価体制を整え、運用しているか	③	2	1	自己評価委員会を設置し自己評価体制を整え、運用している。
(2)	自己評価体制は、養成所の教育課程の運営及び授業実践にフィードバックするように機能しているか	③	2	1	上記(1)の結果については必要な改善を努力義務としている。新教育課程への移行期であり個々の授業実践にフィードバックするよう機能している。
(3)	自己評価体制は、養成所の教育理念、教育目的及び教育目標の維持・改善につながるよう機能しているか	③	2	1	自己評価に対する学校関係者評価結果を受け、養成所の教育理念、教育目的及び教育目標の維持・改善につながるよう機能している。

第15 入 学（評価者は入試委員）

1 教育理念、教育目的及び入試選抜の一貫性

(1)	教育理念及び教育目的の一貫性をもって入学者選抜についての考え方を述べているか	③	2	1	入学者選抜については、教育理念や教育目的の一貫性をもっており、学校案内にアドミッションポリシー（入学者受け入れ方針）を明示し、ホームページ上や学校説明会時に公表し説明している。
-----	--	---	---	---	--

2 入学状況及び入学者の推移についての分析

(1)	入学者状況及び入学者の推移について、入学者選抜方法の妥当性及び教育効果の視点から分析し、検証しているか	③	2	1	入学選抜方法の妥当性及び教育効果を分析したうえで、次年度の入学試験内容を検証している。
-----	---	---	---	---	---

第16 国家試験（評価者は国家試験対策委員）

1 国家試験内容の分析と試験対策

(1)	国家試験内容の分析及び試験対策が明確となり機能しているか	③	2	1	カスタマーサクセス看護（旧medilink看護）の活用により内容分析が明確となり、学生へのフィードバックも容易となっている。
-----	------------------------------	---	---	---	--

2 合格状況の把握と分析

(1)	合格状況の把握と分析について明確となっているか	③	2	1	カスタマーサクセス看護（旧medilink看護）及び東京アカデミーによる自己採点を行い、迅速な合格予想と分析が可能となっているほか、領域別分析は各領域担当教員が行い冊子にまとめている。
-----	-------------------------	---	---	---	--

3 不合格者への支援体制

(1)	不合格者への支援体制が明確となり、機能しているか	3	②	1	支援体制は整っているが、連絡が密に取れない場合もあり、十分に機能しているとは言えない。
-----	--------------------------	---	---	---	---

第17 卒業、就業及び進学（評価者は進路指導担当）

1 卒業時の到達状況の把握

(1)	卒業時の到達状況を捉える方法が明確であり、計画的に行っているか	③	2	1	卒業時の到達状況を把握する方法としてアンケートを計画的に行っている。
-----	---------------------------------	---	---	---	------------------------------------

2 卒業生の分析

(1)	卒業時の到達状況を分析しているか	③	2	1	卒業時の到達状況について看護教育目標に関するアンケートを実施し、結果の分析を行っている。
(2)	卒業生の就業・進学状況を分析しているか	③	2	1	看護師国家試験の合格発表直後に、最終的な卒業生の就業・進学状況を分析している。
(3)	卒業生の到達状況、就業・進学状況についての分析結果は、教育理念及び教育目標との間で整合性があるか	③	2	1	看護師国家試験の実績、医療機関への就職状況及び進路状況からすると、地域社会の保健・医療・福祉に貢献できる人材を育成するという教育理念等と十分に整合性がある。

3 就職先の評価と調査の実施

(1)	卒業生の就業先での評価を把握し、問題を明確にしているか	3	②	1	臨地実習病院、合同就職説明会、求人を訪れた施設等より卒業生の就業先での評価について把握している程度で、問題の明確には至っていない。
(2)	卒業生の就業先との情報交換、調査の実施等ができる体制を整えているか	3	②	1	合同就職説明会や求人を訪れた施設担当者との情報交換は行っているが、体制整備にまでは至っていない。

4 卒業生の活動状況の把握と分析（評価は専任副学校長）

(1)	卒業生の活動状況を把握し、統計的に整理しているか	3	②	1	勤務施設の看護部と情報交換し、卒業後の活動状況について把握しているが、総合的な活動状況の把握・分析には至っていない。
(2)	卒業生の活動状況の分析結果を、教育理念、教育目的、教育目標及び授業の展開に活用しているか	3	2	①	卒業後の動向を情報交換する方法を検討し、対応することができていないため、教育理念、教育目的、教育目標及び授業の展開に活用できていない。

第18 地域社会と国際交流（評価者は学校長又は専任副学校長）

1 地域社会との関係

(1)	社会との連携に向けて、地域のニーズを把握しているか	③	2	1	新教育課程の導入により地域のニーズを把握することができている。
(2)	看護教育活動を通して地域社会への貢献を組織的に行っているか	③	2	1	新型コロナウイルス感染症の位置付けが変更となり、学校祭を感染拡大前と同様に開催することができ、地域社会との交流の機会を作ることにつながった。
(3)	養成所の教育活動について、地域社会のニーズを把握する手段を持っているか	③	2	1	講義及び実習等により地域社会のニーズを把握している。
(4)	養成所から地域社会へ情報を発信する手段を持っているか	③	2	1	ホームページその他の広報活動などにより発信している。
(5)	養成所が設置されている地域の特徴を把握しているか	③	2	1	新教育課程の導入により地域・在宅看護論の講義の一環として行われたフィールドワーク及び実習を通して、地域の傾向やニーズを把握することができている。
(6)	地域内における諸資源を養成所の学習・教育活動に取り入れているか	③	2	1	新教育課程において、地域の保健・医療領域の社会資源を理解できるよう地域・在宅看護論の講義及び臨地実習として科目を設定し、学習・教育活動に取り入れている。

2 国際交流の取組

(1)	国際的視野を広げるための授業科目を設定しているか	③	2	1	3年次に海外で生活経験のある講師が「国際看護」の講義を行っており、今年度は卒業後4年目で留学の手続きをした卒業生がいる。また、「英語」を2年次に設定し、教育内容として、医療英語も履修している。
(2)	国際的視野を広げるための自己学習に適した環境を整えているか	3	②	1	必要に応じて環境を整えることはできる。
(3)	海外からの帰国学生や留学生の受け入れ体制を整えているか	3	2	①	必要に応じて対応することはできるが、対象の学生がいないため、受け入れ態勢は整えていない。
(4)	留学や海外において看護職に就くこと等を希望する学生に対応できる体制を整えているか	3	②	1	必要に応じて体制を整えることはできる。

第19 研究活動の状況（評価者は学校長又は専任副学校長）

1 教員の研究活動の保障

(1)	教員の研究活動を時間的、財政的及び環境的に保障しているか	③	2	1	県内外に向けた研究活動を保障している。
-----	------------------------------	---	---	---	---------------------

2 教員への研究活動の支援

(1)	教員の研究活動を助言・検討する体制を整えているか	③	2	1	教員の研究活動について助言・支援している。
(2)	研究に価値を置き、研究活動を教員相互で支援し合う文化的素地が養成所内にあるか	3	②	1	研究の必要性は認識しているが、教員相互で支援し合うまでに至っていない。